

令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市内 (波除小学校) 学校協議会

1 総括についての評価

学校の 1 年間の取り組みとその評価が妥当である。

特に不登校児童の割合が減少していることは、令和 5 年度の反省もふまえて学校の積極的な取り組みがあったことと高く評価している。学習の中での取り組みも確実に数値が向上していることは望ましい結果である。ICT 活用や職員の働き方改革などの課題については引き続き取り組みを進められたい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

学校アンケート「学校へ行くのは楽しいと思いますか」の質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

学校アンケートの結果も 80%を上回っており、学校の取り組みの成果を十分に読み取ることができた。引き続き取り組みを進められたい。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 39%以上にする。

学校アンケートの結果は目標設定を大幅に超えており、今年度の取り組みの成果が非常にあったことがうかがえる。次の目標に向かって取り組みを進められたい。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

児童の読書環境の充実のため、学校図書館の活性化、区図書館、図書補助員との連携を強化し、学校アンケート「本を読むことが好きですか」の質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。

学校アンケートでの目標数値を超えており学校の取り組みの成果が読み取れる。地域の読み聞かせボランティアとも連携して進めている部分での課題には積極的に取り組みを進められたい。

3 今後の学校園の運営についての意見

学校協議会は元 PTA の役員をはじめとして主任児童委員、地域活動協議会の役員など学校を取り巻く地域の団体と十分に対話し、連携する中で進められている。今後も情報交換や連携を進める中で協力できることは協力していきたい。

波除小学校は地域のボランティアが多くかかわってきた経過があるので、コロナ禍で中断してしまった活動を再度実施する方向であるとの学校の考えには賛同であり協力していただきたい。